

2020年2月6日

上場会社名 明治ホールディングス株式会社
 コード番号 2269 URL <https://www.meiji.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 IR広報部長 (氏名) 古田 純

TEL 03-3273-3917

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	951,183	0.1	80,348	0.9	81,802	1.1	52,461	15.2
2019年3月期第3四半期	950,698	1.5	79,604	10.3	80,903	8.9	61,893	22.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 53,088百万円 (16.1%) 2019年3月期第3四半期 63,257百万円 (0.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	361.67	
2019年3月期第3四半期	426.80	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	1,034,761	591,878	53.8	3,839.96
2019年3月期	1,004,143	560,630	52.5	3,635.79

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 557,067百万円 2019年3月期 527,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		65.00		75.00	140.00
2020年3月期		70.00			
2020年3月期(予想)				70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,309,000	4.4	108,000	9.8	109,000	9.3	67,500	9.1	465.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 明治乳業(天津)有限公司、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、[添付資料]12ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	152,683,400 株	2019年3月期	152,683,400 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	7,612,348 株	2019年3月期	7,650,137 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	145,054,292 株	2019年3月期3Q	145,020,074 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算短信補足説明資料の入手方法について)

決算短信補足説明資料は決算短信に添付しTDnetで開示しております。また、当社ホームページにも同日掲載いたします。

(アナリスト・機関投資家向け電話会議資料の入手方法について)

当社は、2020年2月6日(木)にアナリスト・機関投資家向けの電話会議を開催する予定です。この電話会議におけるプレゼンテーション資料および音声情報は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	11
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「2020中期経営計画」の2年目を迎え、基本コンセプト「継続的戦略課題への取り組み」と「成長に向けた新たな挑戦」に基づき、「コア事業での高シェア・高収益の実現」「海外市場での成長基盤の確立に向けた積極的な事業拡大」「健康を軸とした新たな価値領域での仕掛け」「構造改革の継続的な実行と個別事業課題の克服」「経営基盤の進化とサステナビリティの推進」に向けた取り組みを進めています。

2020年3月期は、食品セグメントでは個人消費動向が不安視され、医薬品セグメントでは2019年10月に続き2020年4月にも薬価改定の実施が予定されるなど厳しい環境下ではありますが、両セグメントともにコア領域・成長領域に経営資源を重点的に投下することで着実に計画を推進しています。

当第3四半期連結累計期間の売上高は9,511億83百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は803億48百万円(同0.9%増)、経常利益は818億2百万円(同1.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は524億61百万円(同15.2%減)となりました。

(単位:億円)

	2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	対前年同期 増減額	主な増減要因
売上高	9,506	9,511	4	詳細はセグメント別の概況に記載
営業利益	796	803	7	詳細はセグメント別の概況に記載
営業外収益	30	41	11	受取保険金+12
営業外費用	17	27	9	持分法による投資損失+2
経常利益	809	818	8	—
特別利益	134	16	△117	負ののれん発生益△65、 固定資産売却益△54
特別損失	57	56	△1	災害による損失△13、減損損失+9
税金等調整前 四半期純利益	885	778	△107	—
法人税等	244	232	△11	—
非支配株主に帰属する 四半期純利益	22	21	△1	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	618	524	△94	—

セグメント別の概況は次のとおりです。

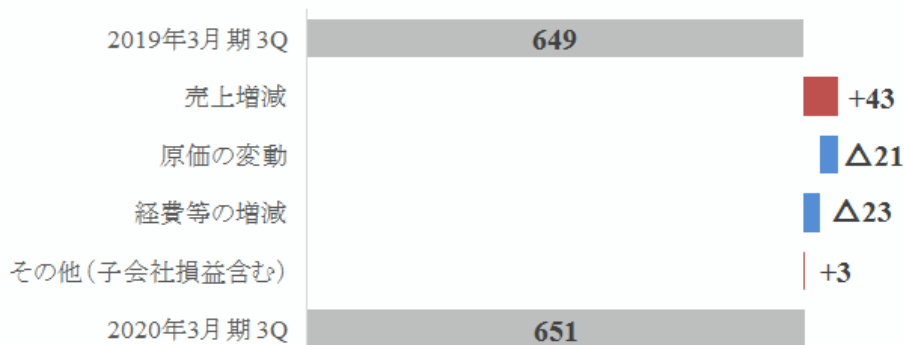
①食品セグメント

- ・売上高は前年同期並みとなりました。加工食品事業、菓子事業、栄養事業、海外事業は前年同期を上回りましたが、発酵デューリー事業はプロバイオティクスやヨーグルトの減収により前年同期を下回りました。
- ・営業利益は前年同期並みとなりました。栄養事業の主力品の増収や価格改定等により、プロバイオティクスやヨーグルトの減収影響をカバーしました。

(単位：億円)

		2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	対前年同期 増減率
食 品	売 上 高	8,031	7,966	△0.8
	営業利益	649	651	0.3

営業利益増減分析 (単位：億円)



※「売上増減」には品種構成の変化を含みます。

事業別の概況は次のとおりです。

(単位：億円)

売 上 高				営 業 利 益			
	2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	対前年同期 増減率		2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	対前年同期 増減率
発 酵 デイリー	2,480	2,435	△1.8	発 酵 デイリー	341	321	△5.9
加工食品	1,375	1,390	1.1	加工食品	70	75	7.5
菓 子	876	891	1.7	菓 子	148	145	△2.2
栄 養	676	713	5.5	栄 養	113	136	20.0
海 外	354	358	1.1	海 外	10	12	19.8
その他 国内子会社	2,267	2,177	△4.0	その他 国内子会社	34	29	△12.9
				全社共通費	△69	△69	—

【発酵デイリー事業】 (ヨーグルト、牛乳類、飲料等)

- ・売上高は、「明治おいしい牛乳」が堅調に推移したことに加えて、「ザバスミルクプロテイン」がラインアップの強化により大幅に伸長しましたが、プロバイオティクスやヨーグルトが減収となった結果、前年同期を下回りました。
- ・営業利益は、減収の影響や原材料調達コストの増加により前年同期を下回りました。

【加工食品事業】 (チーズ、バター・マーガリン、クリーム、アイスクリーム、冷凍食品等)

- ・売上高は、アイスクリームが夏場の天候不順の影響を受けて減収となりましたが、10月に燻製タイプの新商品を発売した「明治北海道十勝カマンベールチーズ」が大幅増収となったことなどが寄与し、前年同期を上回りました。
- ・営業利益は、主要商品の増収に加え、2019年3月に実施したアイスクリームの価格改定の影響などにより、前年同期を上回りました。

【菓子事業】 (チョコレート、グミ、ガム等)

- ・売上高は、「チョコレート効果」や「きのこの山・たけのこの里」が好調に推移したことにより、前年同期を上回りました。
- ・営業利益は、物流費や販売促進費などが増加した影響により、前年同期を下回りました。

【栄養事業】 (スポーツ栄養、乳幼児ミルク、流動食、美容、OTC等)

- ・売上高は、乳幼児ミルクがインバウンド需要の影響を受けて好調に推移したほか、スポーツプロテイン「ザバス」や流動食「明治メイバランス」の増収などにより前年同期を上回りました。
- ・営業利益は、主要商品の増収により前年同期を大幅に上回りました。

【海外事業】 (海外子会社、輸出)

- ・売上高は、中国子会社が伸長したことにより、前年同期を上回りました。
- ・営業利益は、中国子会社の増収により、前年同期を大幅に上回りました。

【その他国内子会社】 (飼料、畜産品、砂糖および糖化穀粉、運送等)

- ・売上高は、畜産品子会社や物流子会社等の減収により前年同期を下回りました。
- ・営業利益は、畜産品子会社や物流子会社等の減収の影響により前年同期を大幅に下回りました。

②医薬品セグメント

- ・売上高は、2019年10月に実施された薬価改定の影響がありましたが、前年度第2四半期から連結したKMバイオロジクスの実績が計上されたことに加え、インフルエンザワクチンや海外子会社の増収により前年同期を上回りました。
- ・営業利益は、インフルエンザワクチンや海外子会社の増収に加えて、インド子会社ののれん償却費の減少が寄与し、前年同期を上回りました。

(単位：億円)

		2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	対前年同期 増減率
医薬品	売上高	1,482	1,554	4.8
	営業利益	151	156	3.0

営業利益増減分析

(単位：億円)



※「売上増減」には品種構成の変化を含みます。

事業別の概況は次のとおりです。

(単位：億円)

売上高				営業利益			
	2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	対前年同期 増減率		2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	対前年同期 増減率
国内	964	1,095	13.5	国内	100	97	△2.6
海外	305	332	9.0	海外	15	25	60.6
KMバイオロジクス	240	295	22.9	KMバイオロジクス	43	21	△49.4
消去	△27	△169	—	修正・消去	△8	10	—

【国内事業】

- ・売上高は、抗うつ薬「リフレックス」が特許切れの影響で大幅な減収となったものの、インフルエンザワクチンや抗菌薬「タゾピペ静注用明治」が大幅に伸長したことから、前年同期を大幅に上回りました。
- ・営業利益は、抗うつ薬「リフレックス」の大幅な減収や2019年10月に実施された薬価改定の影響などにより、前年同期を下回りました。

【海外事業】

- ・売上高は、インドやスペインの子会社が伸長したことにより前年同期を上回りました。
- ・営業利益は、海外子会社の増収に加えて、インド子会社ののれん償却費の減少により前年同期を大幅に上回りました。

【KMバイオロジクス】

- ・売上高は、前年度第2四半期から連結子会社となったため、当期の第1四半期実績が純増となり、前年同期を大幅に上回りました。
- ・営業利益は、当期から新たに取込んだ第1四半期において営業損失を計上した影響などにより、前年同期を大幅に下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：億円)

	2019年3月期	2020年3月期 第3四半期累計	対前期末	
			増減額	主な増減要因
流動資産	4,214	4,421	207	受取手形及び売掛金+176、 現金及び預金+45、貸倒引当金△11
固定資産	5,826	5,926	99	建物及び構築物(純額)+169、機械装置及 び運搬具(純額)+25、建設仮勘定△87
資産合計	10,041	10,347	306	—
流動負債	2,915	2,959	44	コマーシャル・ペーパー+130、 短期借入金+100、 未払法人税等△134、賞与引当金△59
固定負債	1,520	1,469	△50	長期借入金△57
負債合計	4,435	4,428	△6	—
株主資本	5,075	5,388	312	利益剰余金+309
その他の包括利益 累計額	197	182	△14	為替換算調整勘定△25、 退職給付に係る調整累計額+16
非支配株主持分	333	348	14	—
純資産合計	5,606	5,918	312	—
負債純資産合計	10,041	10,347	306	—
有利子負債	1,163	1,336	172	コマーシャル・ペーパー+130、 短期借入金+100、長期借入金△57
自己資本比率	52.5	53.8	1.3pt	—

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日の「2019年3月期決算短信」で公表しました2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,356	29,931
受取手形及び売掛金	202,193	219,872
商品及び製品	105,757	105,709
仕掛品	4,578	3,946
原材料及び貯蔵品	55,589	55,105
その他	28,149	28,897
貸倒引当金	△176	△1,305
流動資産合計	421,447	442,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	334,729	353,527
減価償却累計額	△169,035	△170,915
建物及び構築物(純額)	165,693	182,611
機械装置及び運搬具	533,595	535,931
減価償却累計額	△381,789	△381,601
機械装置及び運搬具(純額)	151,806	154,330
工具、器具及び備品	54,826	56,827
減価償却累計額	△42,237	△42,677
工具、器具及び備品(純額)	12,589	14,149
土地	70,765	69,721
リース資産	2,891	2,982
減価償却累計額	△2,243	△2,164
リース資産(純額)	648	818
建設仮勘定	31,988	23,285
有形固定資産合計	433,491	444,916
無形固定資産		
のれん	73	717
その他	13,480	13,105
無形固定資産合計	13,553	13,823
投資その他の資産		
投資有価証券	93,504	92,074
退職給付に係る資産	20,274	21,308
繰延税金資産	14,409	13,326
その他	7,557	7,226
貸倒引当金	△94	△72
投資その他の資産合計	135,651	133,863
固定資産合計	582,696	592,603
資産合計	1,004,143	1,034,761

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	125,479	123,324
短期借入金	33,597	43,671
コマーシャル・ペーパー	-	13,000
未払費用	46,286	44,198
未払法人税等	21,023	7,554
賞与引当金	11,895	5,969
返品調整引当金	757	392
売上割戻引当金	2,443	2,798
その他	50,021	55,007
流動負債合計	291,504	295,915
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	62,788	57,002
繰延税金負債	10,650	10,281
退職給付に係る負債	53,830	54,579
役員退職慰労引当金	106	121
その他	4,632	4,981
固定負債合計	152,008	146,967
負債合計	443,512	442,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	100,061	100,208
利益剰余金	407,943	438,871
自己株式	△30,422	△30,280
株主資本合計	507,582	538,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,261	32,711
繰延ヘッジ損益	3	△1
為替換算調整勘定	△1,751	△4,264
退職給付に係る調整累計額	△11,785	△10,178
その他の包括利益累計額合計	19,728	18,266
非支配株主持分	33,320	34,811
純資産合計	560,630	591,878
負債純資産合計	1,004,143	1,034,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	950,698	951,183
売上原価	605,196	602,246
売上総利益	345,501	348,937
販売費及び一般管理費	265,896	268,588
営業利益	79,604	80,348
営業外収益		
受取利息	91	171
受取配当金	1,219	1,279
持分法による投資利益	35	-
受取保険金	-	1,239
その他	1,662	1,462
営業外収益合計	3,008	4,153
営業外費用		
支払利息	547	555
持分法による投資損失	-	274
為替差損	508	477
その他	653	1,392
営業外費用合計	1,709	2,700
経常利益	80,903	81,802
特別利益		
固定資産売却益	6,514	1,065
負ののれん発生益	6,584	-
投資有価証券売却益	99	598
その他	226	-
特別利益合計	13,425	1,663
特別損失		
固定資産廃棄損	1,494	2,044
減損損失	1,007	1,991
災害による損失	1,328	-
その他	1,938	1,571
特別損失合計	5,769	5,607
税金等調整前四半期純利益	88,558	77,858
法人税等	24,411	23,256
四半期純利益	64,147	54,601
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,253	2,140
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,893	52,461

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	64,147	54,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,657	△550
繰延ヘッジ損益	45	△4
為替換算調整勘定	△749	△2,165
退職給付に係る調整額	1,654	1,581
持分法適用会社に対する持分相当額	△181	△374
その他の包括利益合計	△889	△1,513
四半期包括利益	63,257	53,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,111	51,000
非支配株主に係る四半期包括利益	2,146	2,088

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、一部の在外連結子会社においてIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品	医薬品			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	802,763	147,934	950,698	-	950,698
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	413	365	778	△778	-
計	803,176	148,299	951,476	△778	950,698
セグメント利益	64,922	15,157	80,080	△476	79,604

(注)1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△476百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△488百万円が含まれております。全社費用は当社(持株会社)運営に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結累計期間において、KMバイオロジクス株式会社の株式の一部を取得し、連結範囲に含めた事により、「医薬品」のセグメントにおいて負ののれん発生益を6,584百万円計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品	医薬品			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	796,222	154,961	951,183	-	951,183
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	450	487	937	△937	-
計	796,672	155,448	952,121	△937	951,183
セグメント利益	65,148	15,605	80,754	△405	80,348

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△405百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに
配分していない全社費用△411百万円が含まれております。全社費用は当社(持株会社)運営に係
る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。